

<2025年度>

第2回理事会議案書

2025年 6月 13日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2025年度 第2回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 704 号室

日 時： 2025 年 6 月 13 日（金）
11：30～13：45

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告（定款第 36 条）

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

第 1 号議案 第 58 回通常総会 議案書確認の件 ----- 総会議案書

6. 報告事項

(1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件 ----- [理 25-2-報 1] (p4-)

(2) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会 ----- [理 25-2-報 2①] (p9-)

② 人づくり研修（募集関連情報）について ----- [理 25-2-報 2②] (p11-)

③ 外部団体との意見交換会対応 WG ----- [理 25-2-報 2③] (p15-)

④ 一次加工品質管理 WG ----- [理 25-2-報 2④] (p17-)

(3) 特定技能外国人材関連情報について ----- [理 25-2-報 3] (p19)

(4) その他

7. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 25-2-他 1] (p21-)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 25-2-他 2] (p26)

(3) 2025 年度主要会議日程 ----- [理 25-2-他 3] (p27)

(4) 支部報告 ----- [理 25-2-他 4] (p28-)

8. 閉会の辞

以上

第 1 号議案 第 5 8 回通常総会 議案書確認の件

第 5 8 回通常総会の議案について、別冊の議案書をご確認いただきたい。

以 上

報 告 事 項

第58回通常総会当日のスケジュール

<2025年 6月 13日(金)>

- | | | |
|--|--------------------------------|------------------------|
| (1) 第4回 三役会 | 9:30 ~ 11:15 | 1号会議室 |
| (2) 第2回 理事会 | 11:30 ~ 13:45
(食事) | 鉄鋼会館 [704号室] |
| (3) (株)全国鉄骨評価機構 株主総会
(" 取締役会 | 14:00 ~ 14:30
14:30 ~ 14:45 | " [801号室]
[704号室]) |
| (4) 第58回 通常総会 | 15:00 ~ 16:10 | " [801号室] |
| (5) 第3回 理事会 | 16:10 ~ 16:20 | " [704号室] |
| (6) 表 彰 式 | 16:30 ~ 16:45 | " [801号室] |
| (7) 懇 親 会 | 17:00 ~ 18:30 | " [900号室] |

以 上

第58回通常総会(2025年6月13日)出欠集計表

2025年6月10日現在

	三役会			理事会①			総会(表彰式)			理事会②			懇親会		
	出席	欠席		出席	欠席		出席	欠席	未回答	出席	欠席		出席	欠席	未回答
三役会	4	0		4	0		4	0	0	4	0		4	0	0
支 部 長	—	—		9	0		9	0	0	9	0		9	0	0
監 事	—	—		2	0		2	0	0	2	0		2	0	0
正 会 員 理 事 長	—	—		—	—		34	2	0	—	—		34	2	0
記 者 会	—	—		—	—		8	0	0	—	—		6	2	0
正 会 員 副 理 事 長	—	—		—	—		1	46	0	—	—		4	43	0
表 彰 者	—	—		—	—		5	29	0	—	—		4	30	0
経 産 省 ・ 国 交 省	—	—		—	—		—	—	—	—	—		2	0	0
賛 助 会 員	—	—		—	—		—	—	—	—	—		73	4	0
ク・レポート・協議会 青年部・基金	—	—		—	—		—	—	—	—	—		1	3	0
全 鉄 評 ・ 教 育 セ ン タ ー	—	—		—	—		—	—	—	—	—		2	0	0
事 務 局	2	0		7	0		14	0	0	2	0		19	0	0
計	6	0		22	0		77	77	0	17	0		160	84	0

第18回定時株主總會（2025年6月13日開催）座席表 <鉄鋼会館 801号室>

立 演 台

大原 総務部長

板垣 取締役

大竹 取締役

高野 社長

議長

小野 取締役

松尾 取締役

津田 取締役

村上 監査役

平井 監査役

司公

机

事務局出席者→ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

✓H* ✓H*

株主（正会員代表者）

自由席

↑ 出席者 記者会

受付(机 3 本)

有線マイク:4
★無線マイク:6

全構協

第58回通常総会 (2025年6月13日開催) 座席表 <鉄鋼会館 801号室>

吊看板/全構協旗[illegible]

議長 (水蓋)

★

(立演台)

專務理事 小賀 武	監事 村上貞樹	監事 吉岡晋吾
--------------	------------	------------



表彰状・記念品を展示
に入れて用意

[illegible]正会員代表者

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形 (代官出張) 【秋田県】	福島	茨城	栃木 (代官出張) 【茨城県】	埼玉	千葉 (代官出張)	東京	神奈川	山梨 (代官出張) 【山梨県】	長野	富山
山口	広島	岡山	島根	鳥取	和歌山	奈良	大阪	京都	滋賀	愛知	三重	静岡	岐阜	福井	石川
徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄 (代官出張)				

【表彰者】 柳木 小松芳光	【表彰者】 石川 米森 誠	【表彰者】 帆早 吉田謙一	【表彰者】 静岡 渥美那之	【表彰者】 山口 久保正徳			新 事務理事 山田 安彦
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	--	--	-----------------

[illegible]

自由席 (副理事長)

↑ 出席者 記者会

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

交付(机 3 本)

【全構協総会開始前】

・吊看板変更 (全構協旗付)

立舞台用意

・前垂れ、席札、変更

【全權協定會通】中

・議長選任後、立演台を撤去し、議長席を用意

・第3回理事会中に、前に出ている席の前垂れを新三役に貼替

• 〃 退任重役 廣移動

● 終了後、資料配布

・議事退席後、議事台を立ち去る。

- ・会長挨拶後、立演台を撤去し、スタンディングマイクを用意（事影式）

有網マイク:4

★無線マイク:6

事務局出席者→ ○○○○○○○○○○○○

✓H* ✓H*

2025 年度＜第 58 回＞通常総会後懇親会 [6 月 13 日(金)]
当日のスケジュール

1. 場 所 鉄鋼会館 9 階
[東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10
TEL 03-3669-4856]

2. 総会後懇親会 17:00～18:30
[次 第]

① 会長挨拶 (一社)全国鐵構工業協会 会長 永 井 毅

② 来賓挨拶 経済産業省 製造産業局金属課長 鍋 島 学 様

国土交通省 住宅局建築指導課
建築物事故調査・防災対策室長 松 井 康 治 様

③ 専務理事交代のご報告 (山田新専務理事のご紹介)

④ 乾 杯 (一社)全国鐵構工業協会 [大 竹 副 会 長]

～～ 歓談 ～～

⑤ 中 締 (一社)全国鐵構工業協会 [板 垣 副 会 長]

以 上

2025 年度 第 2 回 運営委員会 議事要旨

1. 日時 2025 年 6 月 2 日(月) 12:50-16:30
2. 場所 全構協第 1 会議室
3. 出席者
委員会 妹尾委員長
猪股副委員長・松枝副委員長
高田・松田・川上・松尾・倭島・渡辺・原田各委員
全構協 山田顧問・大原・滝本・木村
4. 議事次第
 - 1) 委員長挨拶
 - 2) 報告事項
 - ・分科会 1(快適職場認定制度[仮称]) 三役会(5/13)、理事会(5/21)の内容を報告
三役からの提案を踏まえて、今年度はチェックリストの完成・構成員個社の自己採点
までとする内容で今後進めていく。ネーミングは早期に、リストについては 9-10 月頃
に完成させる。分科会で立案し、運営委員会で進捗報告・承認を取っていく流れ。
(現運営委員で第 1 段階のゴールを作る)
 - ・分科会 2(保険) 分科会(4/23:岡山)の内容を報告
事務局から生命共済と損害保険の付保範囲について説明。
運営委員への勉強会を行うこととした(自社の加入状況を調べてもらった上で)
 - ・分科会 3(指定塗料、鋸刃他) 分科会(5/12)の内容を報告
大日本塗料と今後の(改善)活動について再度協議すること、アマダマシナリーとは業
界需要の変化を踏まえた共済事業の方向性を協議する予定であることを報告。
 - ・分科会 4(人財育成) 分科会(5/12)、理事会(5/21)の内容を報告
今年度開催の研修についての(準備)進捗状況を報告。
 - 3) 検討事項
 - ・2025 年度業界動向調査について(最終確認)
図面問題(鉄骨製作図の契約と法令)の使用状況についてのアンケートを今回調査に加
えることを報告(理事会決定事項)今回限りではなく、次回以降も継続的に問えば良い、
アンケート結果も調査報告に盛り込めば良いとの意見。
従業員数、設問 1(女性従業員数)設問 27(見積条件書特記事項を使用したか)は必須回
答(フォーム必須設定)とする。

4) 研修

- ・生命共済、損害保険勉強会(分科会で決めた勉強会を開催)

事務局から生命共済・損害保険・労災保険の付保範囲、運営委員自社の加入状況について、委員長から生命共済・損害保険の商品説明。

商品説明の資料は修正が必要、事務局で修正の後、分科会で再度行うこととした。

5) 今後の進め方

分科会 1 : 7 月 3 日 (木) [全構協]

分科会 2 : 6 月 30 日 (月) [岡山]

分科会 3 : 6 月 26 日 (木) [大阪]

分科会 4 : 7 月 1 日 (火) [web]

運営委員会 : 7 月 30 日 (水) [全構協]

資料

- ・快適職場認定制度(仮称)チェックリスト
- ・2025 年度 業界動向調査
- ・生命共済(保険)勉強会資料

別冊

別冊

別紙[当日配布]

【理25-2-報2②】

支部事務局 御中
支部長 各位

2025年6月16日
(一社)全国鐵構工業協会
運営委員会

受講者募集・開催実務等へのご協力のお願い ～～『人づくり研修2025』2025年10月以降、8支部にて開催～～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会の諸活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

早速ですが全構協では中堅層の従業員を対象に、『あなたの成長が会社の未来につながる』とし、『人づくり研修2025』を、8支部にて本年10月以降、順次実施致します。

本件、6月13日の全構協総会にて予算承認を頂き、早速、受講者募集を行うこととなり、また開催準備についても本格的に開始致しますので、各支部事務局様に各種ご協力のお願いをさせていただきます。

ご多用中かとは思いますが、何卒、宜しくお願い申し上げます。

敬具

1. ご依頼内容等

(1) 受講者募集(受講者名簿作成)

- ・各支部単位で募集を行って下さい。(20名程度での研修を前提にしています)
- ・募集にあたっては、受講者募集(ご案内)を活用頂きたく、宜しくお願い申し上げます。
- ・受講者の応募が20名程度から大きく外れる場合には、事前に全構協事務局に連絡下さい。
尚、受講者数に余裕がある場合、他支部からの受け入れをお願いする場合があります。

(2) 各支部事務局、オブザーバー視聴参加の方

- ・研修当日、全構協からの派遣は、講師2名および全構協事務局1名、計3名の予定です。
ついては、各支部事務局様にて研修運営を行って頂きたく、宜しくお願い申し上げます。
⇒ 当日受付(出欠確認)、会場設営、弁当、懇親会運営、事後アンケート、その他
※ 2024年度の人づくり研修と同様の業務内容であると想定しております。
- ・オブザーバーとして講義を視聴いただくことは可能といたしますが、視察(視聴)の方は全構協構成員とし、受講対象者(層)以外の方とします。

(3) 同時にお送りした書式に上記(1)・(2)のメンバーを記入の上、全構協総務部に提出をお願い致します。提出期限は、研修実施日の2週間前とします。(班編成検討のため)

※ 各支部事務局の方の交通費(宿泊費)・日当は全構協にて算定します。

※ 懇親会には、オブザーバー参加の方及び事務局の方については任意参加(歓迎)です。

※ 弁当はオブザーバー参加の方・各支部事務局の方・全構協講師・報道関係者の分も準備願います。

2. 開催経費等について

受講者の交通費・宿泊費『以外』の費用については全構協にて負担致します。

下記をPDFで総務部(木村)へメール送信下さい。(解像度200dpi以上、グレースケール 又は カラー)

- ・ ホテル等からの請求書等については、宛名を『一般社団法人全国鐵構工業協会』として下さい。
⇒ 全構協からホテル等に直接に支払います。
- ・ 既に経費の立替払いをして頂いている場合は、お支払いをして頂いた際に受け取った領収書を添付し、貴支部から全構協宛に請求書を発行願います。(領収書・請求書共にPDFで可)

3. ご不明点等がございましたら全構協事務局(木村)へ一報を頂きたく、宜しくお願い致します。 以 上

～ あなたの成長が会社の未来につながる ～
《《 人づくり研修2025 》》
～～ 2025年10月 開講予定 ～～



『これから自分に更に磨きをかけ、輝く将来に向け伸びていく』
そのような方々がワンステップ上の自分を目指すための研修です。

『これから部下を持つかもしれない人』、『管理職になったばかりの人』、
『リーダー的な存在』であり『職場のまとめ役』のような方にフィットします。
仕事に自信はあるが、更にプラスして振る舞いや幅広い知識を身につけて、
将来に向けてステップアップしたい方、どのようにすれば、仲間・後輩・先輩と
更に一丸となり、集団でより良い仕事ができるのか、一緒に考えていきます。



全構協会長 永井毅

研修構成
(2部構成)

1日目『モチベーションアップ』・『誇れる仕事・仕事のやりがい』

自らの仕事が生かす命/安全/財産を守る事に繋がっていて、
いかに誇らしいものであるか、改めて見つめ直します。

2日目『ビジネスマナー』・『対人/自己スキル』・『利益の仕組み』

実は知らなかったビジネススキルを学び、一歩上の中堅社員を目指します。
数字から自社の課題とその対策をメンバー/講師陣と考えます。



運営委員会委員長 妹尾一人

受講対象者 **ファブの中堅社員**(年齢/職歴に制約なし、経営層の方はオブザーバーとして視聴いただくこともできます。もちろん、受講者として参加頂いても経営層の方にも効果的な内容となっております。)
※『リーダーになって欲しい方・成りたい方』『既にリーダーだが自信の無い方』、それ以外の方も受講可です。
歓迎：できる人から信頼される人へ、自らにプラスして更にステップアップしたい意欲のある方

開講要領

各支部単位で現地開催(全国8支部にて計8回を予定)

※ 隣接支部での受講も可能とする等、実状に応じ柔軟に運用

連続2日間 合計11時間コース ※初日集合12:00(厳守)

1日目 12:00～17:00(12:00～13:00昼食、17:30～懇親会)

2日目 08:30～16:30(12:00～12:45昼食) ※16:30 解散

※ 昼食は2日間とも主催者手配(受講者の持参は不要)

1回20名程度(グループディスカッション等、研修プログラム上の制約)

交通費・宿泊費等を除き、費用は全構協負担(受講料不要)

受講希望があれば是非、各支部への応募をお願い致します。(開催日程・場所は『ご案内』参照)



【講師について】

- 1日目 全構協構成員が務め、講師自身の体験談を織り交ぜ、鉄骨製造業がいかに誇らしくかつ面白味のある仕事であるのかを熊本城復旧ビデオ等を用いて、受講者間のディスカッションを通じて自らを見つめ直します。
- 2日目 24年度研修と同じコンサル会社(株)エフアンドエムが務め、2日間研修全体のサポートも行います。

以上

～ あなたの成長が会社の未来につながる ～
《《 人づくり研修2025 》》
---- 2025年度 開催日程・場所 ----

支部名	日 程 (自)	日 程 (至)	会 場				最寄り駅
			名称	電話番号	〒	所在地	
北海道	11/27(木)	11/28(金)	ホテルモントレーザルホテル札幌	011-242-7111	060-0002	北海道札幌市中央区北2条西1丁目1番地	JR札幌駅
東北	10/29(水)	10/30(木)	ホテルJALシティ仙台	022-711-2580	980-0013	宮城県仙台市青葉区花京院1-2-12	JR仙台駅
関東	11/19(水)	11/20(木)	アワーズイン阪急	0570-011-806	140-0014	東京都品川区大井1-50-5	JR大井町駅
北陸	近畿支部研修へ合流 (2026年3月13日-14日、ホテルマイステイズ新大阪)						
中部	10/27(月)	10/28(火)	ウインクあいち	052-571-6131	450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38	JR名古屋駅
近畿	03/13(金)	03/14(土)	ホテルマイステイズ新大阪	06-6302-5571	532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19	JR新大阪駅
中国	12/03(水)	12/04(木)	サン・ピーチOKAYAMA	086-225-0631	700-0023	岡山県岡山市北区駅前町2-3-31	JR岡山駅
四国	02/27(金)	02/28(土)	ネストホテル松山	089-945-8111	790-0002	愛媛県松山市二番町1丁目7番1号	JR松山駅
九州	11/12(水)	11/13(木)	福岡商工会議所	092-441-1116	812-8505	福岡県福岡市博多区博多駅前2-9-28	JR博多駅

～～ 支部事務局様への依頼事項(人づくり研修2025) ～～

2025年6月16日 全構協事務局
(4.11 事務局長会議資料の一部修正版)

下記2.研修形態等(5)(7)以外は、研修時間帯を含め、24年度「人づくり研修」と同様です。

1. 場所設定
 - (1) 昼食も研修の一環(下段参照)ですので、研修会場で昼食(弁当)をとります。(両日ともこの時間帯で受講生と講師のコミュニケを図り、班内の自己紹介も済ませます。
 - (2) 懇親会は研修会場と別でも同じ建物内でも結構ですが、他のお客様と一緒にならない様個室(など)を準備願います。(できれば立食でお願い致します)
 - (3) 宿泊場所は、講師・報道関係者・全構協関係者は必要に応じ各自で確保しますので、支部様での手配は不要ですが、支部関係者(補佐を頂ける方・事務局の方)・受講者等の宿泊場所の確保の要否は支部様で判断の上、ご対応下さい。
2. 研修形態等
 - (1) 1班当4名のメンバー構成を講師陣にて決定し、支部事務局に連絡します。
各シマに4名ずつ座れるよう、座席を配置願います。(スクール形式は不可)
 - (2) 支部様からのご挨拶については、特に必要はございません。
尚、もし、支部様からご挨拶を頂ける場合には、研修冒頭の時間をご活用ください。
 - (3) 支部関係者等の方のためのオブザーバ席は、支部判断で余裕をもって設けて下さい。
但し、視察(聴講)の方は全構協構成員とし、受講対象者(層)以外の方とします。
 - (4) 鋼構造出版他、報道関係者が研修・懇親会の取材に入ることがあります。協力をお願い致します。
 - (5) 支部関係者(オブザーバー参加の方、事務局の方)・講師・報道関係者についても、昼食および懇親会の人数に含めて頂いて結構です。(全構協関係者も人数に含めて下さい)
 - (6) 研修運営に携わって頂く支部関係者については、交通費・日当・(必要に応じ)宿泊費を全構協事務局で規程に基づいて算定の上、お支払い致します。
 - (7) 1日目の懇親会は受講者間及び講師陣・関係者との貴重な交流の場でもあり、研修プログラムの一つとして組み込んでおりますので事情が無い限りは参加いただくよう、案内をお願いします。
3. 必要機材
 - (1) パワーポイント入りのノートパソコン、接続コード(HDMI)を準備願います。
 - (2) 受講者の名刺を名札代わりにしますので、名札ケースを準備願います。
 - (3) 各シマに班名を表示するため、例えば32名であれば、A班～H班の机上用表示スタンドを準備願います。
 - (4) 教材(投影用のプレゼンテーションデータ等)は、講師がUSBスティックで持参します。
 - (5) テキスト(ペーパー)は、全構協事務局から支部事務局のご要望先(任意)に郵送します。
ホテル・支部事務局等、郵送希望場所(とホテルであれば担当者)を、後ほど伺います。
4. 会場準備物
 - (1) スクリーン又はプロジェクター、マイク(ピンマイク可)、ホワイトボード、マーカー
 - (2) 必要であれば受付台

以 上

【理25-2-報2③】

〈 2024～2025 年度 〉

第 4 回 外部団体との意見交換会対応 WG 議事録案

1. 日 時 2025年5月22日（木）10:00～13:00

2. 場 所 全構協 第1会議室

3. 出席者 （敬称略）

リーダー：登尾

メンバー：長谷川、原、川村

（事務局）山田、安藤、齋藤、尾下

4. 議事次第

資料No.

1) WGリーダー挨拶

2) 前回議事録の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・No. 1

3) 外部団体との意見交換会対応 WG での検討事項について・・・・・・・・・・No. 2～7

①「外部団体との意見交換会等の活動」調査

各支部の活動状況調査結果の活用の仕方について

②「中央組織または全国規模で取り扱いたい要望事項や意見交換したい内容」の調査

調査結果の整理の仕方、調査を踏まえた意見交換会の計画について

4) WGリーダーまとめ

5. 議事要旨

1) WGリーダー挨拶

登尾リーダーより、引き続き皆様の協力をいただきながら WG 活動を進めていきたいと挨拶が行われた。

2) 前回議事録の確認

事務局より、前回議事録案を説明し了承された。

3) 外部団体との意見交換会対応 WG での検討事項について

①「外部団体との意見交換会等の活動」調査

a) 各支部の活動状況調査結果の確認

・各支部・組合より集まった「外部団体との意見交換会の活動状況調査」について、調査結果の概要、技術的に深堀をしている事例、相手先から好評な事例、産官学が連携している事例、継続的な活動を行っている事例、具体的な成果のあった事例など特徴的な活動について事務局より報告した。

b) 活用の仕方についての協議（特徴ある活動、好事例として横展開など）

・特に興味深い事例として埼玉の担い手育成ネットワークや九州での産官学が連携した協議会・研究会等が挙げられた。

【埼玉の担い手育成ネットワーク】技術者及び技能労働者の確保・育成のために建設産業団体、教育機関、行政機関など約41団体が連携しており、高校生などの就活状況やアプローチの仕方、建設業各団体の取り組みなど参考になる情報を得ることができる。

- 【熊本の鉄骨問題協議会】大学、行政、設計事務所、ファブリケーター等、鉄骨関係の業界団体が建築鉄骨の品質確保のために勉強、研修を実施。地震災害発生時の調査やファブの工場見学など様々な活動を実施。福岡や長崎でも同様の活動あり。
- ・好事例として横展開できるものを当WGで選定するよりは、全て展開して、組合を通じて詳細を聴ける体制を整えるのがよいのでは。地域によって抱えている問題やニーズも様々である。

→上記議論を踏まえ、①「外部団体との意見交換会等の活動」調査結果の活用の方針として次の通りとした。

- ・特徴的な活動は全て展開する。
- ・活動に関心を持った組合、構成員が活動の詳細をヒアリングしたり深掘りしたり出来る様に、展開資料には各活動に関する問合せ先を記載する。

②「中央組織または全国規模で取り扱いたい要望事項や意見交換したい内容」の調査

a) 調査結果の整理の仕方について

- ・事務局より、調査結果の一次整理結果を報告した。各要望を分類した結果、鉄骨製作図問題に関する要望や意見が多い。また要望数としては少ないが、働き方改革、物流2024年問題、価格転嫁、S造化推進、AW検定溶接資格、設計関連に関わる要望も寄せられた。

b) 調査を踏まえた意見交換会の計画について

- ・上記報告を踏まえ協議を実施。調査結果、協議内容を事務局にて再整理し、各メンバーの意見も採り入れながら取組み方針を作成していくこととした。

c) 全構協で行っている要望活動について

- ・事務局より、鉄建協と協働して行っている要望活動について報告した。設計事務所、ゼネコン、JSCA等に対して図面問題を中心に要望活動を行っている。

4) その他

- ・次回開催；2025年6月23日（月）14：00-16：00（web会議）

5) WGリーダーまとめ

登尾リーダーより、積極的に発言していただいたことへの謝意とWGの主旨を見直しながら、業界団体としてできることをやっていきたい旨が述べられた。

以 上

〈 2024～2025 年度 〉

第 6 回 一次加工品質管理 WG 議事録案

1. 日 時 2025年5月22日（木）13:00～15:00

2. 場 所 WEB 会議（全構協第一会議室）

3. 出席者 リーダー：岩永 特別参加：全構協 永井会長
（敬称略）メンバー：西山、上柿、金本 オブザーバー：全鉄評 高野社長
事務局：山田、安藤、齋藤、新村

4. 議事次第

資料No.

1) WGリーダー挨拶

2) 前回WG議事録確認

・第5回議事録案 No. 1

3) 一次加工管理基準について

・一次加工標準基準書案 No. 2

4) ヒアリング対象について

・一次加工業者と機械メーカー

5) その他

・次回開催について

6) WGリーダーまとめ

5. 議事内容

1) WGリーダー挨拶

岩永リーダーより下記内容の挨拶があった。

成果に対してようやく形が見えてきた。機械メーカー、一次加工業者へのヒアリング先を検討し、標準基準書を纏めて行くので協力をお願いしたい。

2) 前回WG議事録確認

事務局より資料No. 1の第5回議事録案を報告し了承された。

3) 一次加工精度管理基準について

事務局にて修正した資料No. 2の一次加工標準基準書案を基に内容を検討した。下記の修正をした標準要領書案とすることとし、機械メーカーや一次加工業者のヒアリング用の案とした。学識者にはヒアリング後に参加頂くこととし、中間報告をWGリーダー及び事務局より学識者へ行うこととした。

① タイトルを「建築鉄骨における1次加工標準要領書」とする。

② 2.1.a. 鋼材の規格・材質・メーカー指定の文面を「鋼材の規格・材質およびメーカーは、鉄骨製作者から指示されたものを使用する。」に改める。

③ 加工、マーキングなど重複や誤記を修正。

④ 4.3.b. 自主検査記録の一次加工業者の保有期間を出荷完了時までに変更。

4) ヒアリング対象について

ヒアリング先及び担当者は以下の通りとする。

＜一次加工業者＞

＜担当者＞

豊鋼材、野島鋼材

岩永氏

丸杉

西山氏

吉田鋼業、山大興業

上柿氏

阪和興業、アイテック、山村、岩上鋼材

金本氏

説明資料として、標準要領書と共に、三役会の了解を得たうえで、一次加工アンケートの 6. 精度基準、7. 不具合や手直しの集計結果を提示する。経緯説明をする。

事務局は一次加工業者へのヒアリングにおける説明事項と質問事項を岩永リーダーと相談しフォーマットを三役会までに準備する。担当者は三役会以降に各社にヒアリングを行い、フォーマット記載内容を次回 WG までに事務局へ送信する。

機械メーカーのヒアリング先は賛助会員であるアマダマシナリーと大東精機とし、保守メンテの項目及び契約のヒアリングを事務局が担当する。

5) その他

次回開催は 7 月 23 日（水）10 時からとし、Web 会議とする。

6) WG リーダーまとめ

難しいテーマであるが、これまで良く纏めて頂いたことに感謝する。ヒアリングを含め今後ともこの活動へのご尽力をお願いしたいとの挨拶があった。

以 上

【重要】工業製品製造業分野における新団体設立に伴う手続、在留諸申請時の書類変更について

- 令和7年6月下旬に新団体が発足すると、地方出入国在留管理局への申請に必要な協議会※の名簿は令和7年12月下旬をもって使用できなくなり、その後は新団体の名簿を使用することになります（下記の表を参照）。※製造業特定技能外国人材受入れ協議・連絡会
- 新団体への入会手続は、早ければ令和7年7月1日から開始しますので、特定技能外国人の受入れを行う全ての事業所は、新団体への入会をお願いたします。なお、現在協議会に入会している事業所は、令和7年7月1日～令和7年9月30日の間に、新団体への入会手続を実施いただく予定です。
- 詳細は令和7年6月中旬を目途に協議会からメールにて御案内しますので、必ず御確認の上、手続をお願いします。

① 協議会に入会済みの事業所 又は 協議会に入会申請中で結果待ちの事業所（6月下旬の新団体発足時点で）

期間	所属すべき機関	新たに必要な手続	在留諸申請時の提出書類
～令和7年6月30日まで	協議会	－	協議会の名簿
令和7年7月1日～令和7年12月下旬（※1）まで ▶ 令和7年7月1日～令和7年9月30日の間に、新団体への入会手続が必要です。（※2）	新団体、協議会の両方	新団体への入会手続のみ	協議会の名簿
令和7年12月下旬（※1）以降	新団体（※3）	－	新団体の名簿

② 協議会に未加入で、これから入会申請を予定する事業所

入会申請の予定時期	申請先	新たに必要な手続	在留諸申請時の提出書類（各機関の入会后）
～令和7年6月30日まで	協議会、新団体の両方（※2）（※3） （新団体への申請は7月1日以降開始）	協議会への入会手続 新団体への入会手続の両方	令和7年12月下旬（※1）まで：協議会の名簿 令和7年12月下旬（※1）以降：新団体の名簿
令和7年7月1日以降	新団体のみ	新団体への入会手続のみ	新団体の名簿

（※1）正確な日は決まり次第ご連絡します。

（※2）令和7年7月1日以降、協議会への入会申請の結果にかかわらず、新団体への入会申請が必要です。同意をいただければ、協議会に提出した申請内容を新団体に引き継ぎ、手続を簡素化します。

（※3）新団体への入会手続が完了していないと、令和7年12月下旬以降、特定技能外国人の在留資格の更新や新たな受入れができなくなります。

その他の定例報告事項

【理25-2-他1】

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和7年3月31日現在 (令和6年度増減数)		21	55	2,117
令和7年5月21日 第1回理事会	3月31日	(0)	(19)	2,117
令和7年6月13日 第2回理事会	6月6日	17	1	2,133
累 計		17	1	2,133

《グレード別内訳》

S : 9 H : 303 M : 815 R : 544 J : 38 未 : 424 合計 : 2,133

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和7年6月6日現在

区分	登録・取消 承認	増 減									増減差	増 減 後 構 成 員 数
		登録 社数	取消社数									
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	そ の 他	合 計			
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538	
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395	
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260	
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200	
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171	
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158	
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169	
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172	
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201	
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208	
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199	
令和2年度合計		32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197	
令和3年度合計		27	1	10	7	1	0	11	30	-3	2,194	
令和4年度合計		24	1	14	9	3	0	19	46	-22	2,172	
令和5年度合計		21	1	10	4	1	0	26	42	-21	2,151	
令和6年度合計		21	0	20	11	1	1	22	55	-34	2,117	
令和 7 年 度	第 2 回 (6月6日)	17	0	0	0	0	0	1	1	16	2,133	
	第 3 回 (月 日)											
	第 4 回 (月 日)											
	第 5 回 (月 日)											
	第 6 回 (月 日)											
	第 7 回 (月 日)											
	第 8 回 (月 日)											
	第 9 回 (月 日)											
	年度末処理											
	7年度計	17	0	0	0	0	0	1	1	16	2,133	
累 計		1,146	502	727	561	132	80	1,232	3,234	-2,088	2,133	

1. 転・廃業内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	転業 2社	転業 4社	転業 0社	転業 2社	転業 0社
	廃業 8社	廃業 10社	廃業 10社	廃業 18社	廃業 0社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
令和3年度	0	2	5	6	0	17	30
令和4年度	0	1	5	7	2	31	46
令和5年度	0	1	11	4	1	25	42
令和6年度	0	0	4	14	0	37	55
令和7年度	0	0	0	1	0	0	1

構成員登録社数・増減一覽表

(R7. 4. 1~R7. 6. 6)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道 東北	北海道	76			0	76
	青森	34			0	34
	岩手	31			0	31
	宮城	38	2		2	40
	秋田	23			0	23
	山形	27			0	27
	福島	59	1		1	60
関東	茨城	59			0	59
	栃木	48	1		1	49
	群馬	66			0	66
	埼玉	48			0	48
	千葉	56	2		2	58
	東京	48			0	48
	神奈川	41	1		1	42
	新潟	82			0	82
	山梨	28			0	28
	長野	62			0	62
北陸	富山	36	1		1	37
	石川	32			0	32
	福井	42			0	42
	岐阜	70			0	70
中部	静岡	87	1		1	88
	愛知	123	2		2	125
	三重	59			0	59

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	29	1		1	30
	京都	46			0	46
	大阪	107			0	107
	兵庫	76	1		1	77
	奈良	34			0	34
中国	和歌山	36			0	36
	鳥取	15			0	15
	島根	22			0	22
	岡山	33			0	33
	広島	77	1		1	78
四国	山口	37			0	37
	徳島	25			0	25
	香川	45			0	45
	愛媛	37			0	37
	高知	22			0	22
九州	福岡	48		1	-1	47
	佐賀	24			0	24
	長崎	18			0	18
	熊本	26			0	26
	大分	19			0	19
	宮崎	25	2		2	27
	鹿児島	27	1		1	28
沖縄		14			0	14
合 計		2,117	17	1	16	2,133

構成員登録申請企業一覧表

令和7年6月6日現在
令和7年6月13日決定

(17 社)

都道府県名	受付年月日	構成員登録企業名	代表者名	〒	所在地	年間加工能力	従業員数	グレード	登録番号
1 宮城県	R7.4.2	アオバステール株式会社	赤平 佑介	989-3124	宮城県仙台市青葉区上愛子字寺21-1	158 t	8 人	未	04-116
2 宮城県	R7.4.2	有限会社ササタカ工業	佐々木 勇	986-0313	宮城県石巻市桃生町中津山字八木161-5	600 t	7 人	未	04-117
3 福島県	R7.4.2	株式会社スズサン	鈴木 一則	963-7822	福島県石川郡石川町字梁瀬449-21	2,400 t	10 人	未	07-155
4 栃木県	R7.5.7	株式会社田部井工業	田部 井進	326-0328	栃木県足利市県町206-6	180 t	14 人	M	09-160
5 千葉県	R7.4.7	株式会社倉持鉄工	倉持 光男	278-0057	千葉県野田市光葉町3-13-8	72 t	9 人	未	12-213
6 千葉県	R7.4.7	千葉鋼材株式会社	伊藤 博一	290-0057	千葉県市原市五井金杉4-15	1,440 t	70 人	未	12-214
7 神奈川県	R7.5.22	千葉スチール工業株式会社	千葉 敏久	369-1302	埼玉県秩父郡長瀬町大字野上下郷2122-7	900 t	30 人	H	14-175
8 富山県	R7.6.2	有限会社創鉄工業	前田 大輔	939-0105	富山県高岡市福岡町馬場107	480 t	3 人	R	16-094
9 静岡県	R7.4.21	小泉鉄工株式会社	高梨 幸男	418-0022	静岡県富士宮市小泉1634-24	197 t	6 人	R	22-276
10 愛知県	R7.4.2	有限会社浅田工業	浅田 智義	454-0844	愛知県名古屋市中川区葉池町1-78-1	280 t	4 人	未	23-341
11 愛知県	R7.4.7	カトニツク	加藤 逸雄	444-0071	愛知県岡崎市稲能町字山道10-1	31 t	6 人	未	23-342
12 滋賀県	R7.4.3	岩崎鉄工株式会社	岩崎 鉄也	529-0241	滋賀県長浜市高月町高月976-1	31 t	3 人	未	25-093
13 兵庫県	R7.5.15	株式会社竹田重工所	竹田 忠雄	678-0011	兵庫県相生市那波野688-1	4,000 t	30 人	H	28-210
14 広島県	R7.5.7	株式会社塚本鉄工所	塚本 浩文	739-1802	広島県安芸高田市高宮町佐々部982	400 t	9 人	未	34-188
15 宮崎県	R7.4.14	協同日之出産業株式会社	黒木 豊治	880-1112	宮崎県東諸県郡国富町大字塚原430-3	1,460 t	46 人	未	45-076
16 宮崎県	R7.4.14	株式会社松栄工業	松谷 巖	882-0066	宮崎県延岡市舞野町2555	60 t	12 人	未	45-077
17 鹿児島県	R7.4.4	有限会社野元鉄工建設	野元 政也	891-0602	鹿児島県指宿市開聞川尻4963-4	720 t	5 人	R	46-115
						t	人		
						t	人		
						t	人		
						t	人		
						t	人		
						t	人		
						t	人		
						t	人		
						t	人		
						t	人		

令和7年6月6日現在
令和7年6月13日決定

[illegible]

【理25-2-他2】

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移 (国土交通省建築着工統計速報による)

2025年6月2日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度計		122,466	107.3	45,580	113.3	1,966	104.7	4,656,300	113.1
2022(令和4)年度計		118,676	96.9	41,946	92.0	2,375	120.8	4,313,350	92.6
2023(令和5)年度計		108,314	91.3	38,337	91.4	1,534	64.6	3,910,400	90.7
2024(令和6)年度	4月	10,095	98.0	3,799	97.1	154	97.5	387,600	97.1
	5月	8,353	92.9	2,756	95.9	135	90.0	282,350	95.7
	6月	8,811	96.0	3,138	104.8	98	44.1	318,700	102.7
	7月	8,726	94.2	3,216	102.5	49	22.5	324,050	99.8
	8月	8,295	89.1	2,734	94.1	204	127.5	283,600	95.0
	9月	8,901	96.8	3,279	102.4	30	28.8	329,400	101.3
	10月	9,095	83.8	2,956	73.6	341	211.8	312,650	76.3
	11月	8,438	99.1	2,832	102.1	201	254.4	293,250	104.2
	12月	8,031	92.2	2,765	86.2	67	81.7	279,850	86.2
	1月	6,980	87.8	2,496	78.6	162	253.1	257,700	80.4
	2月	8,076	103.8	2,668	89.8	167	303.6	275,150	91.7
	3月	10,620	128.6	3,047	96.0	126	155.6	311,000	96.8
	年度計	104,421	96.4	35,686	93.1	1,734	113.0	3,655,300	93.5
2025(令和7)年度	4月	8,461	83.8	3,751	98.7	73	47.4	378,750	97.7
	5月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	6月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	7月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計	8,461	83.8	3,751	98.7	73	47.4	378,750	97.7

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

2025(令和7)年度 主要会議日程表

2025.5.27 現在	☐ ↓夏期・年末年始休日	◇ 振替休日
	■ ↓土日・祝日	◇ ↓出勤日

4	日	月	火	水	木	金	土	7	日	月	火	水	木	金	土	10	日	月	火	水	木	金	土	1																							
	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13	14		15	16	17	18	19	20	21		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31													
	6	7	8	9	10	11	12		13	14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26		27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7											
	13	14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26		27	28	29	30	31	1	2		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
5	日	月	火	水	木	金	土	8	日	月	火	水	木	金	土	11	日	月	火	水	木	金	土	2																							
	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13	14		15	16	17	18	19	20	21		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31													
	4	5	6	7	8	9	10		11	12	13	14	15	16	17		18	19	20	21	22	23	24		25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7									
	11	12	13	14	15	16	17		18	19	20	21	22	23	24		25	26	27	28	29	30	31		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
6	日	月	火	水	木	金	土	9	日	月	火	水	木	金	土	12	日	月	火	水	木	金	土	3																							
	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13	14		15	16	17	18	19	20	21		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31													
	8	9	10	11	12	13	14		15	16	17	18	19	20	21		22	23	24	25	26	27	28		29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	15	16	17	18	19	20	21		22	23	24	25	26	27	28		29	30	31	1	2	3	4		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27

2025.5.27 現在

□ ↓ 夏期・年末年始休日

◇ ↓ 出勤日

○ ↓ 振替休日

開催年月日		三役会		理事会		総会		全国理事会 事務局長会議		委員会		その他		備考	
2025 年 (令和7年)	4 月 11 日 金	12:00						15:00 ※				16:30 懇親会		※全国事務局長会議	
	5 月 13 日 火	14:30												12:00 全鉄評取締役会	
	5 月 21 日 水	10:30		14:00 ※										※決算・事業報告・総会招集	
	6 月 13 日 金	9:30		11:30		15:00						17:00 懇親会		14:00 全鉄評株主総会	
	6 月 24 日 火	13:00													
	7 月 8 日 火	14:00													
	7 月 22 日 火	10:30		14:00								17:30 懇親会			
	8 月 5 日 火	14:00										11:00 技術審議会			
	8 月 6 日 水														
	9 月 9 日 火	14:00										15:00 賛助会員との懇談会		17:00 賛助会員との懇親会	
	9 月 16 日 火	9:30		11:30										12:00 全鉄評取締役会	
	10 月 7 日 火	9:00													
2026 年 (令和8年)	11 月 11 日 火	14:00												※移動理事会	
	11 月 18 日 火	12:00		15:00 ※										12:00 全鉄評取締役会	
	12 月 11 日 木														
	12 月 12 日 金	14:00										18:00 事務局職員との懇親会			
	1 月 16 日 金	9:30		11:30			14:00 ※					16:00 新年賀詞交歓会		※全国理事長会	
	2 月 10 日 火	14:00													
	2 月 17 日 火	10:30		14:00											
	2 月 18 日 水														
	3 月 10 日 火	14:30										13:00 青年部会との意見交換会		16:00 青年部会との懇親会	
	3 月 24 日 火	10:30		14:00										12:00 全鉄評取締役会	

開運団体		2026(令和8)年度予定	
【青年部会】 総会・会長会議：2025年4月19日(土) 仙台	その他	2026年4月10日(金)	三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
		2026年5月19日(火)	三役会(14:30) 参考：全鉄評取締役会(12:00)
		2026年5月26日(火)	三役会(10:30) 理事会(14:00)
		2026年6月12日(金)	三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考：全鉄評株主総会(14:00)

* 変更箇所

【理25-2-他4】

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 5月分

(A)

提出日 令和7年6月6日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・13日(火) 三役会・役員会 ・20日(火) 例会	・23日(金) 2025年度第2回役員会 2025年度総会・懇親会
函館	・17日(土) 総会・懇親会	
室苦小樽		
旭川	・12日(月) 営業会議(4社)	
北見	・20日(火) 例会	
帯広	・12日(月) 例会	
釧路		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ～ 9	2 ～ 5	1 ～ 5	75 ～ 100			○			
函館	4 ～ 5	4 ～ 5	1 ～ 3	50 ～ 100			○			
室苦小樽	1 ～ 6	2 ～ 5	1 ～ 2	75 ～ 100		○				
旭川	9	3 ～ 5		80 ～ 120			○			
北見		1 ～ 7		80 ～ 100			○			
帯広	2 ～ 12	2 ～ 4	1 ～ 2	75 ～ 100			○			
釧路	11	6 ～ 9		30 ～ 100		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積みはS/Hは3～9ヶ月、Mは2～5ヶ月で前月とほぼ変わらず。RJ未は1～5ヶ月でやや減少。工場稼働率はS/Hは90～100%でやや増加。M、RJ未ともに75～100%で変わらず。見積は「少ない」が増加し、全グレード合計では「少ない」が18社58%で最も多くなり、「同じ」の12社39%を上回った。これまで同様「新規・中小物件の見積りが少ない」、「新規見積案件が伸び悩んでいる」、「単価が安い」、「図面の決まりが悪い」の他、「案件の中止・延期のため山積調整に苦慮」というコメントもある。1～5月の積算量は31,181tで、平年比55%、前年比56%
函館	・各社バラつきはあるが、稼働率・山積み共に上がってきている様子。見積(中小規模)は計画含め出てきてはいるが、管内の物件は少ない。総会時に、会員より海外の鉄骨が入ってきている旨報告あり。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・見積は中小ともに少ない状況。稼働状況は多少は改善されてきている。秋以降の仕事量が薄くなっており、図面の未確定や遅延で工場の製作に影響が出ている物件もある。ゼネコンの指値が厳しく、利益が薄い状況で受注している物件もある。
旭川	・5月から9月までは山が高い工場もあるが、現在も残業までは必要なく9月以降は未だ見えていないところも数社。また鉄骨が少ないので、プラント関係を製作している工場が1社。見積も中小物件がほとんどだが、引き合いが減ってきている。
北見	・春先は各現場の着工が同時期となり、建方時期が重なっている。いずれも図面の決定が遅く、製作工程に影響が出ている。
帯広	・見積は若干増加傾向。工場稼働率も上がってきているが山は高くない。
釧路	・各社の稼働率は4月同様、70～80%。物件の動きが悪い状況が続いている。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2025 年（令和 7 年）5 月分

(A)

提出日 令和 7 年 6 月 2 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○5/9 令和 7 年度通常総会、役員会、県知事による講話会、懇親会 ○5/21 鉄骨部会担当者会議 ○5/2.13.15.27 技術品質サポート（4 社）	○5/29～30 NDI-UT レベル 1 実技講習会（多賀城）
岩手県	○5/1 青年部理事会 ○5/14 県南支部会 ○5/19 盛岡支部会 ○5/22 令和 7 年度通常総会、青年部通常総会、懇親会 ○5/27 令和 7 年度前期性能評価傾向対策説明会	
宮城県	○5/15 役員会・理事会 ○5/23 令和 7 年度通常総会・懇親会	
秋田県	○5/21 令和 7 年度通常総会	
山形県	○5/14 三役会及び役員会、第 49 回通常総会 ○5/16 超音波探傷技術研究会役員会	
福島県	○5/9 建築鉄骨製品検査技術者学科講習会、白河支部総会 ○5/14,27 技術・品質サポート(各 1 社) ○5/16 青年部総会 ○5/21 第 43 回通常総会 ○5/24,31 実践建築設計 3 次元 CAD 技術講習会 ○5/29 郡山支部総会	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	3～12	1～8	1～4	20 ～ 120			○			
岩手県	2～12	2～6	1～3	70 ～ 100			○			
宮城県	5～17	3～9	2～6	70 ～ 100		○				
秋田県	5～14	1.5～6	1～6	80 ～ 110			○			
山形県	3～11	1～10	1～6	90 ～ 120		○				
福島県	3～9	3～17	0～5	20 ～ 150			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	工場稼働率の全体平均は 90%を維持しているが、二極化しているのが現状で、延期や中止物件で工場が急に空いてしまったり、調整に苦慮している工場が多い。夏場以降の物件も薄い見通しの中、安値情報もあり、価格についての注意喚起をより一層徹底している。
岩手県	手持ち工事量・工場稼働率は現状を維持できているが、依然としてバラつきがある。工場加工費の平均額は若干上昇したものの、依然として適正な利益を得られる額に至っていない。前月改善した見積数は再び減少し、引き続き組合員間の連携を呼びかけながら今後の動向を注視している。
宮城県	見積件数が若干増えており、手持ち工事量も増加傾向にあるが、工期の遅延や工作図承認の遅れなどで製作工程や稼働率への影響が大きいと思われる。
秋田県	相変わらず地元物件は少なく、見積もり物件も少ない状況である。官公庁物件が少し出ているが、民間工事は非常に少ない。単価も下がり傾向で、総会の際も「今が我慢の時期だ」との声が出ていた。
山形県	前月同様物件数が少ない。手持ち工事量、稼働率に変化が見られないが、改善につながるよう期待したい。
福島県	公共工事見積が多少出始めています。先月同様に工期遅延や質疑回答承認待ちが多い。価格交渉も厳しい状況。地元工事を県内商社が県外 FAB に出しているケースも散見されています。

< 関東支部 > 状況報告書

2025年(令和7年) 5月分

(A)

提出日 令和7年6月6日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	関東支部活動・行事等
東京都	9日 東横塾第10期開講準備打合せ 29日 第2回理事会、第39回通常総会 31日 固形エンドタブ溶接技能者技量検定(新規・更新)試験	24日 青年部関東ブロック総会 30～31日 建築鉄骨超音波検査技術者講習会
千葉県	9日(金)東部支部会 12日(月)北部支部会 14日(水)CNDI役員会、西部支部会 15日(木)日本建築家協会総会懇親会 16日(金)南部支部会 23日(金)通常総会 30日(金)青年部役員会	
神奈川県	16日 事業運営委員会・共同受注購買勉強会、22日 役員会、総会、研修会、賛助会員との交流会	
茨城県	1日 第1回理事会、14日中央会専門委員会 23日第28回通常総会 24日ゴルフコンペ 30日茨城県建築士会総会 31日～1日 UT実技試験対策講習会	
埼玉県	10日(土) 青年部会第35回通常総会 14日(水) 固形タブ技量付加試験受験準備説明会 16日(金) 第49期組合通常総会 17日(土) 第44回STK会ゴルフコンペ 21日(水) 固形タブ技量付加試験 29日(木) 県南・県東支部支部合同ゴルフコンペ	
栃木県	5/12 賛助会総会、5/16 青年部総会、5/23臨時理事会・工業会通常総会、 5/23 櫛くろがね定時株主総会、5/26 性能評価任意評定調査(1社)	
群馬県	5/23三役会・役員会・通常総会	
長野県	5/7 常任理事会 5/9 県産連理事会 5/10・11・24 UT実技講習会 5/14 建専連総会 5/15 組合通常総会 5/22 技術委員会 5/26 中央会総代会・70周年式典 5/27 職能協会総会 5/28 青年部役員会 5/30 現図講習会 5/31 構造物鉄工 実技講習会	
山梨県	2日 会計監査 8日 理事会 9日 溶接JIS検定(堀之内訓練所) 10日 溶接JIS検定(一般) 22日 青年部会 23日 溶接安全委員会 28日 教育技術委員会 30日 社員総会 [教育関係] ・ガス溶接技能講習(15～16日)・高校生溶接競技大会参加者実技講習(24日) ・若年人材育成事業 (15～16日)ガス溶接技能講習、20日コンプライアンス ・21日金属材料試験実習、26～28日職業能力基礎)	
新潟県	14日青年部総会 23日通常総会 30・31日製品検査技術者講習会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	4～13	2～6	1～4	50～100			○			
千葉県	12.0	3～21	2.5～5	10～100			○			
神奈川県	7～11	2～6.2		50～100			○			
茨城県	2	2～6	8～12	50～95		○				
埼玉県	5～30	2～16	2～6	60～100		○				
栃木県	8	1～5	1～6	60～110			○			
群馬県	5～10	3～10	2～3	70～120			○			
長野県	4～10	3～10	4	75～120			○			
山梨県	3～12	3～9	2	80～100			○			
新潟県	3～12	2～8	1～5	50～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	物件の引き合いや見積もりは一部で見られるものの、全体的な動きの鈍さは依然として解消されていない。2027年度の大規模再開発案件や物流施設関連について、継続的な問合せに加え、具体的な仕様検討の動きも出てきた。一方、ゼネコンや商社からのコスト削減要求は非常に厳しく、見積り段階から激しい価格競争に晒され、採算ラインの維持は極めて困難な状況で、中には赤字覚悟の受注も散見され、健全な価格形成が妨げられている状態である。さらに、技能者不足が一段と深刻化し、若年層の入職者減少と熟練技能者の高齢化・リタイアとが同時に進行して、現場の施工能力に対する懸念が高まっている。
千葉県	新築分が減っている。見積りも概算の依頼多し。資格の取得機会を増やしてほしい。図面承認遅れの問題解消の兆しは現れていない。(即効性がない事は了承済み)今後の動向に注視している。
神奈川県	25年度の需要も低水準と言われるように神奈川では年内の仕事量が少ないです。26年、27年建て方の案件見積もりは多く、今が底だと言う話をよく聞きます。鋼材価格については段々と下がってはありますが、原材料価格に反映された値下がりではなく、売れないから下げるといった具合で調達はし易い環境。良くないスパイラルが続いています。
茨城県	・仕事量は全体的に少ないが、他県から見れば、多少なりともある方だと思ふ。R・Mクラスの仕事が盛んな単価でやり取りされているとの事。ただパブル崩壊や、リーマンショックの時よりは、いいと思うし、来年、再来年に向けて、仕事は出てくるので、踏ん張りどころだと思います。 ・付帯工事の承認を得られず思うように製作できない。 ・工場製作現状は先月とほぼ同じ状況のまま。見積り引き合いは2025年明け～6月にかけての引き合いが多く出てます、どれも曖昧なので見積りはするが決まってきたものより値段交渉としますとの回答をしています。受注単価(300～500k/平物)についても4万台～7万台不透明のまま中で中々決定しない、また決まったとしても思うような時期に受注が来ず山積みが増えてきている状況での対応を余儀なくしています。厳しい状況に変わりはない。
埼玉県	生コンクリートの値上げが止まらない。報道によるとこの3年間で40～60%も値上げしているとのこと。ご存じのように生コンは各県・地域の生コン協同組合が市場をほぼ独占しており、アウトサイダーが入る余地が少ない。昨今、需要減少に伴ってH形鋼の市況が下落傾向とのこと一部設計者からも鉄を取り巻く市況の問い合わせが来るなどで、このことは、我々S造に有利に働くか注視している。
栃木県	・運搬費及び重機の費用が値上がりしている。 ・施工主の予算が合わず、ゼネコンも引き気味で採算の合う解体、土木へシフトしているとの情報がある。 ・人手不足の問題で特定技能制度の活用企業もあるが、日本人若手社員が定着しないとの声もある。
群馬県	見積物件の決定が遅れているうえ、さらに図面決定の遅れにより、稼働率が上がらない状況。直近では来年以降の見積りが増えていた。
長野県	・先月報告と状況は変わらず・物件の延期や凍結という情報も聞こえてきており、2026年度の物件情報も不安要素が多い状況となっている。 ・地元物件の単価一方向にもなっていない気がする。(関東物件は多少良い) ・相当、資金繰りが厳しくなっている企業が出て来たか? ・明るくなる兆しが全く感じられない。「底」はまだ先か・・・ ・見積りは増えているが、どれか決まらずわからないので、工期的に重なっているもとよりあえず対応している。・単価があがる兆しが見えてこない。 ・11月以降の物件に対し決まりが悪く、同じ物件で何回も見積り、見直し要求があり、対応に追われている状況。・R8年物件については、不透明感が強い。 ・相変わらず厳しい状況である。他業界より人手不足の話が度々出る。 ・仕事が薄い・人手不足・加工費の相場が下がってきている ・先月と同じ・今月見積提出は極めて少ない
山梨県	仕事量は会員企業によりまちまちな状態変わらず。特定の企業の協力会社となっていたり、比較的小規模の大きな会員企業の仕事量が多いが、全体的な仕事量は少ない状態が続いている。名古屋以西の会社が単価を下げて赤字でも仕事を取りに来ているらしいので、今後の悪影響が出るのではないかと懸念している。
新潟県	・手持ち工事量が少なくなっている。 ・地場物件が少ないのでGC・商社の指値が厳しくなっている。 ・副資材、消耗品の単価が値上がりしているので、収益が悪化しているとの回答が増えた。

＜ 北陸支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年（令和7年）5月分

(A)

提出日 令和7年6月3日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県		
富山県	9日(金) 青年部会5月度役員会・会計監査 19日(月) 建産連・常任理事会 21日(水) 第2回正副理事長会・第47回通常総会 29日(木) 中小企業団体中央会・通常総会	21日(水) 全構協理事会(東京)
石川県	16日(金) 青年部会計監査 22日(木) 第2回三役会、第2回理事会 第54回通常総会・講演会及び懇親会 29日(木) 石川県建設災害防止協会金沢分会総会 30日(金) 第2回青年部役員会 令和7年度青年部総会	
福井県	9日(金) 青年部会通常総会 19日(月) 県建築士事務所協会賛助会員との懇親会 県中央会役員会 27日(火) 三役会、役員会、通常総会 29日(木) 県設計監理協会賛助会員との懇親会	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～14	2～3	1～3	70～90			○			
石川県	6～10	2～3	1～2	90～100			○			
福井県	6～12	3～4	1～2	70～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	状況は先月と変わらないが、一段ときびしい状態が続いている。全体の1/2以上を占める小物件が無いため、なお一層仕事が少なく感じる。価格は下降気味ではあるが、組合員同士で連絡を密にして仕事を融通したり、二次部材の加工を内製化している事もあり、極たんに安い受注価格は聞こえてこない。
石川県	各グレードとも見積物件の増減は先月と変わらない様子。今年度秋より見積りも増えると思われているが現状は兆しが無いため不透明感が増している。案件の決定の遅れによる製作工程の延期や遅延に苦慮しているが、付帯工事や改修工事などでカバーしている。一方で、図面承認の遅れも含めた製作工程のずれによる、案件の重なりで残業や外注の増加し、収益悪化にもつながるのではないかとの声もある。引き続き組合員同士情報交換していきたい。
福井県	各グレード共に新たな物件は少なく、受注量確保に苦慮している状態が続いている。鋼材価格の変動に注視しながら県内外のプロジェクトの発注動向にもアンテナを貼りつつ、ファブ相互の情報交換が一層大切な時期である。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 5月分

(A)

提出日 2025年(令和7年) 6月 2日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	20 日 (火)	通常総会・50周年記念式典	2 日 (金)	製品・超音波学科講習会: 講師打ち合わせ会
静岡県	16 日 (金) 28 日 (水)	三役会 役員会、総会	21 日 (水)	全構協:理事会 出席
愛知県	8 日 (木) 20 日 (火) 20 日 (火) 22 日 (木) 28 日 (水) 29 日 (木) 29 日 (木)	創立50周年実行委員会 H部会 青年部会 第51回定時総会 創立50周年記念講演会・式典・祝賀会 女性部会 (一社)全国労働保険事務組合連合会 通常総会 出席		
三重県	20 日 (火) 29 日 (木)	青年部会 第52回通常総会 性能評価サポート 3件		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3 ~	2.5 ~ 3	1.5 ~ 3	80 ~ 110		○				
静岡県	5 ~ 8	2 ~ 8	1 ~ 5	80 ~ 120			○			
愛知県	7 ~ 11	3 ~ 6	1 ~ 6	50 ~ 120			○			
三重県	10 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 2	80 ~ 110			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・目の前に迫ってきている夏場の物件が少ない企業と無い企業がある。 ・同組合員内でバッティングがあり、発注者側だけが得をするようなことにならないようにしていきたい。 ・相見積もりの場合、迷惑行為となる事例がある。改善を求める。 ・何とか山積みは確保できている。 ・見積条件書は提出しているが、先方に目を通してもらえずスルーされる。
静岡県	・地場物件も多少始めてきたが大型物件は少なく小中型物件が多いように思われる。小中型物件も商社が取りに行っている傾向があるので単価の下がり懸念される。 ・適正価格を守ること。 ・地元案件も含めて競争が激しくなっている。適正価格を維持していきたい。 ・見積が多くなっているが、内容が概算見積りで、直近の仕事に結びついていない。厳しい状況は今年中は続きそうである。 ・物件が細かく、ロットが小さいため、日常の作業がそれぞれ錯綜して、段取りに苦労している。先々の仕事については見込みはあるが、確定物件でも先延ばしの可能性もあり、心配である。 ・9月頃までの山積みは確保できているが、9月以降は未受注、案件見積りも少ない状況になってきている。厳しい状況が続くと予想している。 ・受注している物件はあるが、現場が進まず困っており、応援加工で凌いでいる。 ・7月以降、製作予定工事がない状況である。悪い。
愛知県	・11月くらいまでの予定の物件は引き合いもきています。受注に繋がれば80%程度の稼働率は確保できると思います。 ・関税の影響での中止・設計変更等の状況は現在でも方向性が決まっていません。 ・目先の現場は何とか回している。名古屋の西側駅前の物件がまだ出てくる予定。 ・いい話は聞こえてきませんが、が、こんな時こそ次の準備のお時間です。 ・秋以降の仕事量が少なくと周りからも聞くので全体的な価格が下がらないか心配です。 ・2026年前半までは運よく山積みは埋まったが、その後はかなり不透明。ただ中部地区も2027年以降は上向いてくる感じがする。計画工事が予定通り動けばの話ですが。 ・予定物件が少なく更に延びる傾向にあるため、工場稼働において今後不安感があります。 ・海外鉄骨業者の進出の増加。 ・今後の見通しは非常に悪い。
三重県	・物件数が少ない状況が続いており、先行き不透明感が強い。 ・鋼材単価は若干下降傾向にあるが、物件量が少ないことから単価競争は激しく、依然下降傾向にある。 ・物件の中止や先送りなど市場の様子見感相変わらずで、見積依頼はあるが実行見積かどうか不明。 ・全体的に来年以降の見積依頼が多く、今年度の受注確保が懸念される。 ・名古屋・近畿の商社の進出が目立ち、県内南勢地区の状況は特に厳しい。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2025年(令和 7年 5月分)

(A)

提出日 令和 7年 6月 5日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・5/21 第54回通常総会、認定工場部会総会、青年部会総会 ・5/13,14,19 サホート2社 ・5/28 滋賀県庁自由民主党要望書提出	・5/28全構協近畿支部 会計監査
京都府	5/15四役会 5/16青年部役員会 5/28勉強会・総会	
大阪府	5/21青年部役員会・5/23 第52回通常総会 ・5/29運営共済事業委員会	
兵庫県	・5/9 三役会 ・5/23 第53回通常総会	
奈良県	・5/ 7 教育・認定事業委員会 ・5/15 会計監査 ・5/22 第2回理事会・第53回通常総会・懇親会	
和歌山県	5/9 監事監査 理事会 5/22 第50回通常総会・創立50周年記念式典・記念講演・記念祝賀会	

(B)

①手持ち工事量(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6 ～ 12	2 ～ 6	1 ～ 2	60 ～ 100			○			
京都府	5 ～ 7	1 ～ 7	1 ～ 2	30 ～ 100			○			
大阪府	4 ～ 12	2 ～ 5	1 ～ 3	30 ～ 90		○				
兵庫県	4 ～ 10	2 ～ 6	1 ～ 3	40 ～ 100			○			
奈良県	～	3 ～ 6	1 ～ 4	50 ～ 100			○			
和歌山県	6 ～ 12	1 ～ 5	0 ～ 2	40 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	2024年度の鉄骨需要量が2年連続400万トンを割り込む中、受注価格も低迷を続けており、需要・価格の両面で県内ファブも非常に厳しい状況で、全体的に物件規模を問わず 中止・延期・計画の見直しなどが目立つ。ゴールデンウィークが終わり、例年であれば いよいよ本格的に稼働するはずではあるが、依然として厳しい状態が続いている。 輸出関連の工場は投資を見合わせる動きも見られる。今年度に関しても急激な需要の回復は期待しにくい状況だが今後の需要の動きに期待し、引き続き状況を注意深く見守りたい。
京都府	見通し付かない状況である。厳しい時期こそ、横のつながりを大切にし情報共有をして行けたらと思う。民間物件少ない。見積は普通にあるが決定に至るに足りない。決定物件では、工程通りに行かない事が多い。
大阪府	足元の物件量、物件数は、まだ少ないためか指値は厳しい。安値受注はせず、助成金を活用して休みを増やしたりして凌いだり、情報交換により製作の協力など、鉄骨の低需要を乗り切る工夫をしている時期。その一方、少しずつではあるが、見積りは増え始めている。また、来年の物件も出だしている報告を受ける故、来年に向けての、若干の期待感はある。
兵庫県	年末に向け延期や中断していた案件が動き出す兆候が見られるが、来年以降は相変わらず不透明なままである。万博が終了する秋口から少し仕事量が戻るが、それ以降は再び仕事がないことが予想されるため、最低限の受注と価格の維持のための行動が必要である。
奈良県	夏～秋にかけて、物件数が少ないと良く見聞きし、実際、見積もりの案件は少ない状況が続いています。低価格化が進んでいるように感じます。鉄骨加工単価の下落が心配で、踏ん張りどころです。仕事量は確保出来たとしても、工程が延びる物件も多いと感じます。また、関西以东の物件が多くなって来ているようにも思えます。
和歌山県	県内においては、公共・民間とも動きがほとんどない状況が続いています。一部ファブでは、雇用調整助成金を利用し休業を検討しているところも見受けられます。上位ファブも図面承認の遅れなどで工場稼働率が落ちているようです。秋口からといわれていた需要増も来年からの話が聞こえてきていて厳しい状況が今後も続くかと思われます。

< 中国支部 > 状況報告書

2025年(令和7年)5月分

(A)

提出日 2025年(令和7年)6月5日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	1 日 (木)	組合会計監査	12 日	全構協:運営委員会(分科4 大阪、web)
	12 日 (月)	理事役員会	21 日	全構協:理事会(東京)
	28 日 (水)	第33回通常総会、青年部会総会		
	30 日 (金)	組合員・青年部会・準会員・賛助会員 合同懇親会		
島根県	24 日 (土)	鳥取県技能士会連合会 総会・懇親会		
		青年部会通常総会(益田市)		
岡山県	15 日 (木)	青年部会総会(岡山市)		
	19 日 (月)	第54回通常総会(岡山市)		
	27 日 (火)	岡山県建築士事務所協会総会(岡山市)		
	28 日 (水)	岡山県建設業協会総会(岡山市)		
	28 日 (水)	協同組合鳥取県鉄構工業会通常総会(倉吉市)		
	29 日 (木)	岡山県建築士会総会(岡山市)		
広島県	9 日 (月)	令和7年度前期性能評価事前勉強会		
	21 日 (水)	県中小企業団体中央会第1回理事会		
	22 日 (木)	第52回通常総会・セミナー・懇親会		
山口県	14 日 (水)	第51回通常総会		
	14 日 (水)	(青年部)第31回通常総会		
	31 日 (土)	山口県建築士会定時総会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	2 ~ 8	2.5 ~ 6	1 ~ 3	70 ~ 120			○			
島根県	2 ~ 3	1 ~ 5	1 ~ 2	20 ~ 100			○			
岡山県	4 ~ 10	3 ~ 10	3 ~ 5	50 ~ 100			○			
広島県	11 ~ 17	3 ~ 11	2 ~ 6	30 ~ 100			○			
山口県	1 ~ 3	0 ~ 5	0 ~ 4	75 ~ 100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	見積件数・引き合い案件は少なく、手持ち工事量が徐々に低下傾向の状況が続いている。今のところ2〜3か月程度は工場加工費・稼働率に大きな変化は無いが、新規案件が秋以降から年末にかけて発注物件が出てくる事に期待している様子。また2024年問題の影響で、人件費、燃料費、輸送コストの高騰状態が続き、県内外ファブ同士が先々の加工依頼をする上で、適正価格に応じた内容・お互いの技術能力に合わせた発注金額の取り決めをしながら、信頼関係を築き上げることを努力目標に粘り強く経営力向上に向けて対応しているように思える。そして各社ともお得意様との限度を超えた安値受注をしないように勇気をもって断念せざるを得ない状況も、今後はと胸を痛めながら注視継続している。
島根県	Hグレードでは、今年度は案件が減少傾向にあるうえ、鉄骨造から他構造(RC、軽量鉄骨)へ変更傾向にあるとの声も聞かれます。Mグレードでは、依然として見通しは悪い状況ではありますが、少ないながらも見積りは出てきている様に思われます。Rグレード以下についても、Mグレード同様に見通しの悪い状況であり、上位グレードの応援で繋いでいる状況であります。
岡山県	季節的にも厳しい時期ではあるが、今年はここ数年で一番仕量量が低迷している様に感じる。都心部を顧客とするHグレードもバックオーダーを減らす傾向にあり、盛夏の頃の夏枯れが不安な状態である。この様な時だからこそ協会として、組合として一致団結して現状を乗り越えねばならないと思うが、単なる価格競争を行う者がいる事が残念である。この点協会として何か方策を考えねばならないのではないかと考えている。
広島県	・稼働率については、先月(4月)を底に回復傾向にあるようで、80%以上が8割(うち100%が5割)で、4月に2割もあった50%以下の工場は5%に減少している。 ・手持ち工事量については、グレードや営業範囲による格差が拡大している状況に変化はないが、1年以上先の工事を確保しているHグレード企業においても、山谷は大きいとの声が聞かれる。 ・見積り物件については、HとMグレードの75%が「多い」か「普通」と答えた先月に比べ、HとMグレードの73%(全体では67%)が「少ない」と答えるなど、先行きの不透明感が急速に強まっており、年内は新規物件は期待できず、鉄骨需要はさらに悪化するとの声が強くなっている。
山口県	・Hグレード…今月も引き続きプラント製作のため、稼働はしているものの生産量は上がらなかった。現状仕量量が少ないため、先の工事の製作をさせてもらっているが、金物関係が決まっていなため二度手間になりコストが上がる。遊ばせるよりは良いかと思うが、この状態がいつまで続くのか不安が募るばかり。見積も若干あったが、まだまだ少ない状況。この先、T氏の政策がどう転じるかによって今よりかなり状況が悪化しそうで先行き不安を感じている。 ・M・Rグレード…現状まだまだ厳しいとの声がある一方で「昨年見積した物件が大小数件決まって忙しい」「7月まで建方納期の物件が数件あり大変忙しい状況」との声もありファブによって手持ち工事量に差が生じている。今後の不透明感は否めないが、見積傾向の回答が少ないから普通に転じたため、今後期待したい。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年)5月分

(A)

提出日 令和7年6月3日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	12日(月)情報交換会 20日(火)総会 19日(月)～23日(金)、26日(月) UT1実技講習 19日(月)～23日(金)、26日(月)、27日(火) UT2実技講習	
香川県	13日(火)監査 19日(月)各委員会体制検討会 28日(水)通常総会	
愛媛県	24日(土)通常総会	
高知県	9日(金)懇親ゴルフコンペ 23日(金)通常総会	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	1 ～ 9	2.5 ～ 4	1 ～ 2	50 ～ 120			○			
香川県	～	2 ～ 4	1 ～ 2	70 ～ 100			○			
愛媛県	5 ～ 7	2 ～ 6	2 ～ 7	80 ～ 110			○			
高知県	5 ～	2 ～ 6	1 ～ 3	70 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	Hグレードでは年内の仕事の確保や、2年後の見積りにかかっているところもあるが、全体としては見積りは少なく、先行き不透明であることにかわりなく、仕事量の減少と加工単価の下降の連鎖を断ち切らなければならない。工程管理を密に、無駄なく利益の確保に努めると共に、打って出る積極姿勢が必要。
香川県	5月は、特に県内見積物件及び受注物件は少なく、FAB格差はあるものの、ここ数か月厳しい状況が続いています。また、そのような環境の中、価格面でも競争が激化し、下降傾向にあるので組合員間の更なる情報共有が必要と思われる。しかし、遅延物件なども重なり多忙の所もあるが、先行きは見通せない。
愛媛県	県内の地場物件では紙・パルプ・衛生用品の出荷額が日本一の四国中央市方面では関連設備投資が近年多く、周辺のJ～Mグレードでは安定した受注残を抱える。一方、柑橘・養殖など1次産業が盛んな南予地方ではコロナ前までにJA・漁協関連の発注も一服し、物件数が少ない。よって、地場物件のみのFABの受注は厳しく、南予地区のFABは松山市などの中予、四国中央方面の受注を目指している。まだ、今年度前半は案に反して地場中小物件が出ているおかげで、一定量の受注残を抱える工場が多い。
高知県	見積物件数は少なく同一物件に対し多くの地場ゼネコンよりの見積もり依頼があり競合している。現状の稼働率も一部を除き低い状況が続いている

< 九州支部 > 状 況 報 告 書

2025年度(令和7年度) 5月分

(A)

提出日 令和 7年 6月 4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・5/12 福岡県建築鉄骨協議会 ・JSCA九州支部通常総会 懇親会へ参加 ・5/21 第48回通常総会 ・5/26 品質向上パトロール(1工場)	・5/19 全構協九州支部H部会 会計監査、役員会
佐賀県	5/9 第2回定例理事会・第50回通常総会 5/15 中小企業団体中央会 役員会 5/16 建設業協会 総会出席 5/26 国会議員の講演会出席	・5/28 全構協九州支部 第1回事務局Web会議
長崎県	5/15 理事会・総会・青年部総会 5/20 建築鉄骨研究会 出席 5/22 溶接協会 総会・理事会 出席 5/27 検査・技術委員会 5/28 建設業協会 総会懇親会 出席 5/29 中小企業団体中央会 総会・記念式典 出席	
熊本県	5/8 青年部会監査 5/15 理事会・定例会・総会・懇親会 5/31 青年部会総会・懇親会	
大分県	5/12、13、16 UTLレベル1実技超音波操作指導、5/22 青年部総会、三役会、 親会総会、懇親会	
宮崎県	5/9 第1回理事会 5/12 青年部会監査 5/16 第1回青年部会幹事会 5/27 親会・青年部会通常総会・合同懇親会開催 5/29中央会総会・懇親会出席	
鹿児島県	5/9青年部会役員会 5/16通常総会・青年部会通常総会	
沖縄県	・5/14日:定例理事会、15日:県建設業Safe-Work運動総括会議、16日(金):組合 (第51回)通常総会・懇親会、27日:営業部会、29日:沖縄県溶接協会懇親会	

(B)

①手持工事量(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	3 ~ 10	1 ~ 4	1 ~ 2	60~100			○			
佐賀県	6	1 ~ 4	1 ~ 3	50~100			○			
長崎県	4 ~ 12	2 ~ 5	1 ~ 3	50~100			○			
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	3	93.2			○			
大分県	7 ~ 24	2 ~ 3	—	50~100			○			
宮崎県	5 ~ 10	0.5 ~ 3	0.5 ~ 1	50 ~ 100			○			
鹿児島県	2.5~12	0.25~9	0~1	30~100			○			
沖縄県	2	2	1 ~ 2	60~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・現状としては仕事量は少なく、今後秋口以降の仕事量の増加に期待する
佐賀県	・物件が少なく工場に空きが出ているが、低単価の物件は避けている。 ・継続して見積り件数が少ない。計画はあるが、流動的な物件が多く具体的にない。
長崎県	依然として低空飛行であり正念場である。忍耐強く組合員の最大限の絆が必要である。
熊本県	見積りが少ない。公共工事が少ない。中小物件が少ない。人材が不足している。 図面の承認が遅いので、予定より作図工程が遅くなり工場の工程がうまく流れない。TSMC関連の工事が少しずつ出て来た。
大分県	◎物件の動きが悪く稼働率が低い。見積りや物件が少ないので安値物件が懸念される。◎指値がかなり厳しい。◎単価の値下がり が激しいように感じる。特に300tを超えるくらいの中～大規模の物件において、冬にかけて物件が出てきそうな傾向にある。
宮崎県	・手持工事量が少なく、稼働率も低い状況が続いている。 ・公共工事の見積り依頼が増えてきた。 ・全体的な仕事量が足りないことから、安値受注が出始めている模様。適正価格での受注に努めることが重要。
鹿児島県	物価高のあおりを受けて工事の延期や中止が増えている。不安定な状況のため山積み調整が難しい。見積りも少なく大変厳しい 経営環境が続く見通し。
沖縄県	・先月と変わらず、稼働率・山積みとも低い。躯体鉄骨・金物加工等で工場を稼働。公共物件の見積りも少ない。先行きが不安。